

## 議事録

委員会名	中央区消防団運営委員会
日時	令和4年8月5日(金)10時00分から10時42分まで
場所	東京都中央区築地1丁目1番1号 中央区役所8階 大会議室
諮問事項	大規模地震発生時における特別区消防団の消火能力を向上させる方策はいかにあるべきか
出席者	山本 泰人 (中央区長) 三田 芳裕 (日本橋防火防災協会会長) 中川 隆 (東京臨港防火防災協会会長) 齊藤 進 (中央区副区長) 石島 秀起 (都議会議員) かみや 俊宏 (区議会議員) 堀田 弥生 (区議会議員) 高橋 まきこ (区議会議員) 小栗 智恵子 (区議会議員) 山田 洋一 (京橋消防署長) 大木島 実 (日本橋消防署長) 岩崎 隆浩 (臨港消防署長) 守本 利雄 (京橋消防団長) 志村 榮一 (日本橋消防団長) 村山 茂也 (臨港消防団長)
欠席者	塩島 義浩 (京橋防火防災協会会長) 山本 理恵 (区議会議員) 梶谷 優香 (区議会議員)
傍聴者	なし
配布資料	審議資料

議事録	
事務局 防災課長	開会挨拶
委員長 区長	委員長挨拶
事務局 防災課長	新任委員紹介
事務局 日本橋 警防課長	令和3年度諮問の答申（草案）について説明
高橋委員	<p>資料6ページの消防団の入団促進方策について、SNSやリーフレットの活用を挙げていますが、リーフレットについては、いかに届けるかという視点が重要であるため、どのような場所でどのように届けていく予定かを教えてください。</p> <p>また、大規模災害団員として、退団した消防団員や医療関係従事経験者などの専門技能を持った方々の入団を促進するということですが、医療関係従事経験者については、どのように情報を得てアプローチしていくのか教えてください。</p>
事務局 日本橋 警防課長	<p>リーフレットは一般用、学生用、女性用、事業所用があり、成人式や各種防災イベントで配布しております。</p> <p>大規模団員へのアプローチですが、医師会や消防署の救急業務連絡会で医師や看護師の方々をお願いをしています。</p>
小栗委員	<p>大規模災害団員の現在の人数、その人数が8ページの消防団員現員に含まれているのか、大規模災害団員の対象となる退団した消防団員は現在何人いるのか、それぞれ教えてください。</p> <p>また、区内に34か所ある帰宅困難者一時滞在施設等の事業所に対し、大規模災害団員や消防団への入団働きかけを進めるといいのではないかと思います。事業所への働きかけについてどう進めていくのかを教えてください。</p>
事務局 日本橋 警防課長	<p>大規模災害団員は、区内3団の中で現在京橋に2名おります。対象となる人数は正確には確認する必要がありますが、毎年各団から退団する際にお願いをしているところです。</p> <p>事業所や企業に対しては、消防団への入団促進についてアプローチしていきたいと考えています。</p>

<p>委員 長 区 長</p>	<p>大規模災害団員の説明が必要ではないかと感じました。大規模災害団員は大規模災害時のみ出動し、通常の火災等では出動しないものと解釈しましたがこの点について教えてください。</p> <p>災害時、帰宅困難者一時滞在施設を対応する事業所、防災拠点を守る方、消防団の方と、それぞれの役割があり、対象者が異なるのではないかと考えますが、その点について教えてください。</p>
<p>事務 局 日 本 橋 警 防 課 長</p>	<p>大規模災害団員は、退団者など防災に関わる特殊技能を有すること、建築関係で重機やクレーンを運転できる方、医師や看護師などが資格的な要素です。</p> <p>普段の災害には出動せず、大規模な地震や災害が発生したときに出動するのが大規模災害団員の活動事例です。</p> <p>事業者や企業における協力については、委員長のとおり役割の異なる側面があるかと思います。</p>
<p>委員 長 区 長</p>	<p>今回の諮問が、火災に対する消防団としての役割の在り方に対する答申ではありますが、今後、考えていく必要のある課題であるかと思います。</p> <p>実践的な訓練の実施については、様々な資器材を活用したり、あらゆる想定で訓練を実施するなどの工夫も必要であると感じています。</p>
<p>三 田 委 員</p>	<p>関東大震災から 100 年が経ちます。東日本大震災など各地で実際に発災したときの記録などを使い仮想空間、VR で訓練を行うことも非常に有効であると考えます。</p>
<p>事務 局 日 本 橋 警 防 課 長</p>	<p>今後の審議予定について説明</p>
<p>委員 長 区 長</p>	<p>閉会</p>